



Vol.2
演劇文化

等伯

—反骨の画聖—

に迫る

今年10月20日から七尾出身の絵師、長谷川等伯を主人公とした演劇「等伯—反骨の画聖—」を無名塾と市民キャストで行います。等伯役の赤羽秀之さんに舞台に懸ける思いを伺いました。

特別インタビュー

長谷川等伯役
赤羽秀之さん
(56歳)



波乱万丈な生きざまが魅力

長谷川等伯を演じるにあたって、いろいろと調べてみると、波乱万丈な生きざまが魅力的だと感じました。当時、京の都では、狩野派が画壇を牛耳っていましたが、そこへ一人で乗り込み、立ち向かっていくなんて、並みの人間ではできないことですね。すごく野心家だったのかなと。作品を拝見すると、当時の権力者が好む豪華な絵を

仲代さんの演出が新鮮

普段一緒に舞台上に立つ仲代さんが演出をするのは、これまでに数えるほどしかないのも、とても新鮮です。仲代さんはもともと役者なので、役者目線で意見を出してくれると思います。それが演者としては、すごくやりやすいのかなと想像しています。

市民の皆さんへ

七尾市は、旅公演をスタートする場所として毎年のように訪れるので、「これからはじまる」と気持ち上がる場所であり、「ただいま」と帰ってくる場所です。

市民キャストの皆さんと達成感を味わいたい

公開オーディションでは、台本を当日に渡され、観客が見ている舞台で

市民キャスト公開オーディション

5月29日(月)
能登演劇堂

本公演に出演する市民キャストの公開オーディションが開催され、市内外から集まった応募者10人が、無名塾主宰の仲代達矢さんらを前に演技を披露しました。

仲代さんのほか、長谷川等伯役の赤羽秀之さん、お清(後妻)役の円地晶子さん、台本を手掛ける岡山矢さんが審査員を務め、約1000人の市民らが見守りました。応募者は県内から5人、県外からは

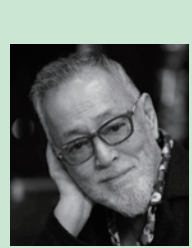
5人で、それぞれ応募のきっかけや意気込みを語った後、2人1組で台本の一部を読み上げ、出演に向けてアピールを行いました。仲代さんは「舞台の初日は足が震えるものだが、皆さんは平然と演じていて素晴らしい。それぞれの個性を活かして演技をしてほしい」と評価。赤羽さんは「市民キャストとの合わせ稽古は10月からとなる。それまでは別々の稽古で、合わせたときに戸惑うと思うが、それも楽しみながらやっていきたい」と期待しました。

後日発表された審査結果は、10人全員合格で、仲代さんは「国民文化祭でもあり、市民の皆さんと共に感動を与えたい」と講評しました。



第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023 七尾市地域文化発信事業

等伯



演出：仲代達矢



出演
赤羽秀之 中山 研 本郷 弦 鎌倉太郎
進藤健太郎 川村 進 円地晶子
上水流大陸 島田 仁 中山正太郎 朝日 望

無名塾 十市民合同公演

&市民キャスト

	10/20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	3	4	5
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金・祝	土	日
開演 14時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※開場は開演の1時間前となります。

■料金(全席指定・税込み) ※当日 500円増
国民文化祭による特別料金
前売 一般・・・5,000円
高校生以下・3,000円
障がい者・・・3,000円
※当日障害者手帳を提示ください。

■プレイガイド
チケットぴあ(Pコード:517-412)
ローソンチケット(Lコード:53893)
イープラス
■チケットの購入、問い合わせ
能登演劇堂 ☎66-2323
営業時間 9:00~17:00
休館日 月曜日、祝日

関スポーツ・文化課国民文化祭推進室 ☎53-1125